

熊野青藍高等学校全日制普通科のコースの新設について

1 熊野青藍高校の概要

- ・令和7年4月に開校した県立熊野青藍高等学校では、木本高等学校と紀南高等学校のそれぞれの取組の成果を生かして、「仲間とつながる 地域とつながる 全国・世界とつながる」をコンセプトとした新たな学びに取り組んでいます。
- ・現在、全日制・普通科（木本校舎3学級）、全日制・総合学科（木本校舎1学級、紀南校舎1学級）、定時制・普通科（木本校舎1学級）があり、各学科の特色に応じた学びを進めています。

2 新設の趣旨

熊野青藍高等学校（木本校舎）普通科では、これまで入学者選抜で定員120人を募集し、入学時に特進コース（定員40人）と普通コース（定員80人）の教育課程が異なる2つのコースに分け、学習を進めています。

令和9年度入学者選抜からは、入学者選抜の段階で普通科（定員80人）と普通科・アドバンスコース（定員40人）に分けて募集します。志願者は出願時点で両コースの違いを検討し、目的に応じたコースを決めて出願できるようになります。

3 新設の概要

- (1) 改編年度 令和9年度入学生より
- (2) コースの新設の要点

【現状】

令和8年度入学生
普通科：定員120人



【コース新設後】

令和9年度入学生
普通科：定員80人
普通科・アドバンスコース：定員40人（新設）

※総合学科（木本校舎・紀南校舎）、定時制・普通科（木本校舎）は変更なし。

4 普通科・アドバンスコースの特色

普通科・アドバンスコースでは、現在の熊野青藍高等学校（木本校舎）普通科・特進コースの特色ある学びを継続します。

- ・国公立大学や難関私立大学への進学を目標に、日々の授業を通じ、生徒の学ぶ意欲や学問分野への興味・関心等を高めます。
- ・特に三重大学には、医学部・教育学部の地域枠推薦制度も活用して多くの合格をめざし、将来医療や教育の分野において、地域社会で活躍できる人材を育成します。
- ・難関大学に合格できる学力をつけるため、普段の授業や進学補習、夏季集中セミナー、県の遠隔配信センターによる遠隔授業等で早期から発展的な学習に取り組みながら、主体的に学ぶ力を育成します。
- ・「アドバンスコース担任会」や「進路検討会」等を計画的に実施し、個々の生徒の成績と必要な受験対策等を多面的に検討し、個別面談等を通じた質の高いアドバイスをを行いサポートします。